

NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 発足15周年記念

川田健太郎 × 若い芽ウインド・オーケストラによるスペシャル・コンサート

Kentaro Kawada and Wakaime Wind Orchestra!

2024.3.15 **FRI** 18:15 OPEN
19:00 START

下関市生涯学習プラザ 海のホール

主催：NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会
後援：下関市、下関市教育委員会、(公財)下関市文化振興財団、山口県吹奏楽連盟 協力：早鞆高等学校吹奏楽部

GREETINGS | ごあいさつ

創立15周年記念コンサートを開催できることとなり、応援いただいているすべての皆様に心より御礼申し上げます。当NPO法人は、ピアニスト川田健太郎の下関でのサロンコンサートがきっかけで、誕生しました。審査で選ばれた受賞者達は、大きく羽ばたき、素晴らしい演奏者に成長しております。本日は、川田健太郎を迎え、一夜限りのフレッシュな若い芽ウインド・オーケストラと共に心に響く音楽をお届けいたします。演奏者、スタッフ一同は、ご来場の皆様が笑顔でお帰りいただけると信じております。芸術・文化 若い芽を育てる会の活動をこれからも末永く暖かいまなざしで応援をお願い申し上げます。

NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 理事長 水内 知子

PROGRAM | プログラム

海を越える握手 / J.P.スーザ

Hands Across the Sea / John Philip Sousa

吹奏楽のための第二組曲 へ長調 / G.ホルスト

Second Suite in F for Military Band Op.28 No.2 / Gustav Holst

| | | |
|------|-------------|--|
| 第一楽章 | マーチ | I. March |
| 第二楽章 | 無言歌 | II. Song without Words "I'll love my love" |
| 第三楽章 | 鍛冶屋の歌 | III. Song of the Blacksmith |
| 第四楽章 | ダーガソンによる幻想曲 | IV. Fantasia on the "Dargason" |

あの日聞いた歌 / arr. 真島 俊夫

A Song from Old Days (Japanese Folk Song Medley) / arr. Toshio Mashima

| | |
|--------------|-----------------------------------|
| 故郷 / 岡野 貞一 | Furusato / Teiichi Okano |
| 浜辺の歌 / 成田 為三 | Song of the Beach / Tamezo Narita |
| 椰子の実 / 大中 寅二 | Coconut / Toraji Onaka |
| 赤とんぼ / 山田 耕筈 | Akatombo / Kosaku Yamada |
| 春の小川 / 岡野 貞一 | The Spring Stream / Teiichi Okano |
| 花 / 滝 廉太郎 | Flowers / Rentaro Taki |

《地球》～『トルヴェールの惑星』より / 長生 淳

The EARTH from "The Planets" by Trouvere / Jun Nagao

=====休憩 Intermission [20分]=====

映画「もののけ姫」より アシタカとサン / 久石 譲 arr. 西條 太貴

Ashitaka and San from Princess Mononoke / Joe Hisaishi arr. Taiki Saijo

ラプソディ・イン・ブルー / G.ガーシュウィン arr. 宮川 成治

Rhapsody in Blue / George Gershwin arr. Seiji Miyagawa

- ▲ ご注意
- ・ホール内の飲食、許可のないビデオ・写真撮影、及び携帯電話・スマートフォン等での撮影はご遠慮ください。
 - ・携帯電話、スマートフォン、時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
 - ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となる場合がございますので配慮ください。

MEMBERS | 出演者一覧

ピアノ・指揮・・・川田 健太郎

指揮(第一部)・・・岩満 貴大

司会・・・渡辺 かえ

吹奏楽・・・若い芽ウインド・オーケストラ

| | | | |
|--------------------------|---------|---------------|--------|
| Piccolo | 花元 百歌 | Horns | 大藪 昌嗣 |
| Flutes | 澤井 波音 | | 奥村 美咲 |
| | 柴田 楓 | | 佐藤 菜乃子 |
| Oboes | 綾目 奈緒子* | | 山本 茜 |
| | 藤本 茉奈美* | Trombones | 田代 泰地 |
| Fagott | 古川 裕貴 | | 長田 智史 |
| E♭Clarinet & B♭Clarinet | 本濱 寿明 | Bass Trombone | 藤田 尚也 |
| B♭Clarinet | 戸次 智子 | Euphoniums | 弘中 優大* |
| | 松川 久美子 | | 岩永 琴美 |
| | 山崎 滂 | Tubas | 弘中 晴菜* |
| | 山下 優輝 | | 植田 響平 |
| | 大倉 理嘉 | Contrabass | 武富 祐子 |
| Bass Clarinet | 嶽下 孝平 | Percussions | 越智 亮太 |
| Soprano & Alto Saxophone | 中谷 弘志* | | 倉永 淳 |
| Alto Saxophone | 木村 鳳雅* | | 長谷見 枝里 |
| Tenor Saxophone | 坂口 夕姫 | | 守田 智紀子 |
| Baritone Saxophone | 井出崎 優* | | 吉田 実奈子 |
| Trumpets | 安部 志穂里 | | |
| | 川畑 有佳 | | |
| | 森 葵 | | |

*若い芽出身アーティスト

STAFF | スタッフ

【インスペクター／企画・運営／ライブラリアン／デザイン】 弘中 優大

【ステージマネージャー】 塩田 望実・堀江 司

【若い芽を育てる会 事務局】

水内 知子(理事長)・御手洗 みよこ(副理事長)・下村 秀樹(事務局長)・植田 満(理事)・森 健二(理事)

安岡 克昌(理事)・石野 久雄(スタッフ)・川畑 道子(スタッフ)・古賀 佐代子(スタッフ)・繁村 佳江(スタッフ)

西村 由香(スタッフ)・松野 和子(スタッフ)・村上 彰(スタッフ)・吉武 ちず子(スタッフ)

PROGRAM NOTES | 曲目解説

J.P.スーザ作曲

海を越える握手

J.P.スーザ(1854-1932)はアメリカの作曲家・指揮者。「星条旗よ永遠なれ」や「美中の美」など生涯にわたりマーチ(行進曲)を100曲以上も作曲し「マーチの王様」と呼ばれた。吹奏楽経験者であれば必ず一度はスーザの曲を演奏する機会があるほど、吹奏楽愛好者にとっては親しみのある作曲家だ。今回演奏する「海を越える握手」は1900年のパリ万国博覧会のために作曲された。もともとは1898年のアメリカとスペインの戦争の際、イギリス海軍がアメリカの支援にかけつけてくれた事にスーザが心をうたれたことや、ある戯曲の言葉「ある考えがわたしの心にひらめいた…永遠の友情を約束しよう」という一節にインスピレーションを得たとされているが、現在では海外親善やさまざまな国際的イベントでもしばしば演奏されている。本日はここ下関、海峡の街から海を超えて羽ばたく「若い芽ウインド・オーケストラ」の若々しい熱い気持ちを音に乗せてお届けする。

G.ホルスト作曲

吹奏楽のための第二組曲 へ長調

G.ホルスト(1874-1934)はイギリスの作曲家・教育者で、最もよく知られる作品はオーケストラ編成で演奏される組曲『惑星』である。2024年はホルスト生誕150年・没後90年にあたるメモリアル・イヤーで、多くの楽団でホルストの作品が演奏される1年になるだろう。今回演奏する「吹奏楽のための第二組曲 へ長調」はR.V.ウィリアムズの「イギリス民謡組曲」、P.グレインジャーの「リンカーシャーの花束」などと共に、吹奏楽のジャンルにおける古典的なレパートリーとして重要な位置を占めている。各楽章はそれぞれイギリスの古い民謡や舞曲などに基づいて作曲されており、親しみのある旋律が多く登場する。

第一楽章の「マーチ」では、「Glorishers」、「Swansea Town」、「Sea Shanty」、「Claudy Banks」の4つの旋律が用いられており、三部形式で展開していく。冒頭部分は低音楽器によるへ長調の音階のモチーフではじまり、その後ユーフォニアムによる印象的なソロが奏でられる。第二楽章の「無言歌」は「I'll love my love」の旋律が使用され、クラリネット・ソロによってモチーフを提示、各楽器に受け継がれていき、独特な美しい響きが魅力な楽章。第三楽章の「鍛冶屋の歌」ではその名の通り「Song of the Blacksmith」が使用されているが、ホルスト自身が作曲した無伴奏合唱のための曲が、ほぼそのまま転用されている。打楽器にアンヴィルという楽器が用いられ、鍛冶屋の槌打つ音が鳴り響くので、そのあたりにもご注目いただきたい。第四楽章「ダーガソンによる幻想曲」では「Dargason」と呼ばれる8小節の循環旋律が終始演奏され、後半部分には有名な「グリーンスリーブス」のメロディが対旋律として登場し、クライマックスを見せた後、終結部分は吹奏楽で使われる一番小さな管楽器「ピッコロ」と、一番大きな管楽器「チューバ」の掛け合いが奏でられるのもこの曲ならではの特徴である。

真島 俊夫 編曲

あの日聞いた歌

誰もが知っている日本の愛唱歌を真島俊夫(1949-2016)がメドレーとして編曲した作品。大阪市音楽団(現:オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ)のCD「POP STAGE」シリーズに収録された作品としても、吹奏楽ファンには馴染みのある曲である。メドレーは6つの曲で構成され、故郷/岡野 貞一、浜辺の歌/成田 為三、椰子の実/大中 寅二、赤とんぼ/山田 耕筈、春の小川/岡野 貞一、花/滝 廉太郎 が順番に登場する。さまざまな楽器がメロディを担当するので、音色の変化もこの曲の聴きどころの一つである。ぜひ童心にかえった気持ちで耳を傾けていただきたい。

長生 淳 作曲

《地球》～『トルヴェールの惑星』より

長生淳(1964-)は現代を代表する日本人作曲家の一人で、吹奏楽作品も多く作曲し、吹奏楽コンクールで学生によって数多くの作品が取り上げられたり、プロフェッショナルの楽団からしばしば委嘱を受けたりしている。

この曲は、ホルストの組曲《惑星》が、2003年にサクソフォン四重奏団「トルヴェール・カルテット」のために編曲され、その際に、折角だからと当時は惑星だった冥王星と地球が作曲者の手によって加えられた。そこからさらに吹奏楽用に再編曲されたものの一つが今回演奏する《地球》である。第一主題にはホルストの《セント・ポール組曲》のジークのモチーフが用いられ、第二主題は作曲者自身によるモチーフで、EARTHにもとづき「E・A・D・C・H」という音型が登場。それ以外にも、ほかの組曲《惑星》の主題の断片ばかりでなく、《惑星》以外のホルストの作品といえば…という曲の主題も重なって曲は展開していく。地球こそが「平和」の惑星になりますようにという願いが込められた作品で、第一部のフィナーレに相応しい壮大な曲である。

久石 譲 作曲／西條 太貴 編曲

映画「もののけ姫」よりアシタカとサン

映画「もののけ姫」は、自然と人間の関係をテーマとし続けてきた宮崎駿の集大成的作品で、それまでの日本映画の歴代興行記録を塗り替える大ヒットした映画である。今回演奏する一曲は物語の終盤で人間ともののけの戦いや頭をなくしたシシ神の暴走で荒れ果てた森が甦る場面で劇中音楽として使用されていたことで有名だ。主人公であるアシタカとサンに心を寄せて、ピアノ・ソロと吹奏楽の優しい響きをお楽しみいただきたい。

G.ガーシュウィン作曲／宮川 成治 編曲

ラブソディ・イン・ブルー

G.ガーシュウィン(1898-1937)は20世紀のアメリカを代表する作曲家・ピアニストであり、ジャズとクラシックを融合し、華やかなアメリカン・ミュージックを展開した。ガーシュウィンの主な作品には、『パリのアメリカ人』のような管弦楽曲から、名曲『サマー・タイム』で知られる『ポーギーとベス』などのオペラまで、そのどれもが彼の個性と才能が存分に感じられる素晴らしいものばかり。それら作品の中でも、もっとも有名な曲の一つが今回お届けする『ラブソディ・イン・ブルー』である。

ラブソディ(狂詩曲)には、「民族音楽風で叙事詩的な、特に形式がなく自由奔放なファンタジー風の楽曲」という意味があるので、このタイトルから、ガーシュウィンはジャズをアメリカにおけるある種の「民族音楽」と捉えていたことが窺える。実際この曲は、アメリカ的な芸術音楽の代表格とみなされている。冒頭は印象的なクラリネットのグリッサンドから始まり、前半部分はジャズの色が強く感じられる。しかし、緩徐楽章に当たるような中間部やジャズにはみられない部分も多々あり、まさにジャズとクラシックの融合に触れることができるだろう。また、ピアノソロのカデンツァ部分は仕事でボストンに向かう際に乗った列車の走行音から着想を得たともされていて、終始さまざまな仕掛けやモチーフに心躍る楽曲構成である。

今夜は若い芽を育てる会理事でピアニストの川田健太郎が弾き振りでソリストを務め演奏する。吹奏楽の華やかなサウンドと煌びやかなピアノ・ソロが融合した豪華な響き、一夜限りのスペシャルなステージをお届けする。



©SHO YAMADA

Kentaro Kawada | 川田 健太郎 [ピアノ・指揮]

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、ロームミュージックファンデーション海外派遣奨学生としてチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院本科を卒業。

第14回かながわ音楽コンクール第1位、第1回青少年盛岡国際ピアノコンクール第3位、第4回東京音楽コンクール第3位、第15回ラフマニノフ国際ピアノコンクールファイナリスト等受賞。これまでにソリストとして、東京フィルハーモニー交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、九州交響楽団など、日本の主要なオーケストラと数多く共演している。

活動の場は幅広く、映画「のだめカンタービレ最終楽章」、日本テレビ系金曜ロードSHOW!「ルパン3世 グッバイ・パートナー」、恩田陸原作シンフォニー音楽劇「蜜蜂と遠雷～ひかりを聴け～」をはじめ、CM、ドラマ、アニメ、舞台など様々な音楽シーンで活躍。近年ではフィギュアスケートの羽生結弦東京ドーム単独アイスショー「GIFT」ではソロピアニストを担当し、その模様はディズニー公式動画配信サービス「ディズニー+」にて全世界に配信された。2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」にて劇伴音楽でのピアノを担当。これまでの活動に対して愛知県知事より令和3年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞を授与される。

「NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会」理事。

現在、名古屋芸術大学准教授。

Greetings for you | みなさまへのメッセージ

本日はNPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会発足15周年記念スペシャルコンサートの御開催誠にとおめでとう御座います。

20歳そここの若かりし頃、下関でソロリサイタルをさせて頂いたご縁から、早20年近い年月が経ってしまい自分自身が驚いています。

この年月の年輪を沢山の下関の皆様と重ねながら本日を迎えるに至った事に、何とも言葉では言い表せない気持ちでいっぱいです。

下関の皆様が何も無いところから種蒔きをし、ぼつりぼつりと芽吹きを共に喜び、今や本当に素晴らしい才能あふれる芸術家が若い芽を育てる会から世界中で活躍している事を嬉しく思います。

「0を1にする」事の大切さをこの会の皆様から教わりました。

弾き振りなんて大それた事はピアニストとしては難しいですが、今日というこの日を存分に共演者、お客様の皆様と楽しみ、特別な日にしたいと思います。

どうぞ、ごゆっくりと思い思いの聴き方で音楽をお楽しみ頂けたら幸いです。

川田 健太郎

PROFILES of Wakai-me Artists | 若い芽出身アーティストプロフィール

©井村重人



綾目 奈緒子 - Naoko Ayame (あやめ なおこ) [Oboe]

山口県立下関西高等学校、武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーソ学科卒業。
パリエコールノルマル音楽院にて、最高課程のアーティストディプロマ(審査員満場一致)と室内楽科
高等ディプロマを取得。パリ地方音楽院 室内楽科コンサーティスト課程にてエマニュエル・ストロ
セ氏に師事。パリ8区区役所、Chez Janacek、Sainte-Croix-des-Arméniens大聖堂でのコンサ
ートに推薦され出演。京都フランス音楽アカデミー、カザルス音楽祭、ヴァレ・ドール音楽祭などのアカ
デミーで研鑽を積む。第1回パリ国際音楽コンクール室内楽部門1位。第10回 NPO法人 芸術・文
化 若い芽を育てる会にて聴衆賞 並びにスポンサー賞を受賞。
これまでオーボエを、津守一彦、桐谷美貴子、青山聖樹、ダヴィッド・ワルター、トーマス・インデアミュ
ールの各氏に師事。
現在はブリュッセル王立音楽院修士課程にてエリック・スベレール氏に師事。

●みなさまへのメッセージ●

この度はNPO法人芸術・文化若い芽を育てる会主催のコンサートに出演する機会、また、ピアニスト川田健太郎
さんと共演する機会を賜りましたこと、とても嬉しく思っております。私は下関市の出身なので、地元で芸術家を
育てる活動が盛んに行われていることをとても誇りに思います。今秋にはヨーロッパでの勉強を終え、完全帰国す
る予定です。微力ながら、大好きな下関の振興の一助となれるよう、演奏活動に励んで参りたいと思います。これ
からもよろしくお願ひ致します。

©Ayane Shindo



藤本 茉奈美 - Manami Fujimoto (ふじもと まなみ) [Oboe]

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程
修了。桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了。柴滋、広田智之、小畑善昭、和久井仁の各氏に
師事。2015年夏、ドイツでシェレンベルガー氏、ブルグ氏に学び、当地の演奏会に出演。2016年、広
島交響楽団とB.マルティヌスのオーボエ協奏曲で共演。第18回さくらびあ新人コンクール廿日市市
教育長賞受賞。「芸術・文化若い芽を育てる会」スポンサー賞・牛尾シズエ賞受賞。第29回宝塚ベ
ガ音楽コンクール木管部門入選。第3回K木管コンクール第2位。録画審査を通過しスイスで行わ
れたMuri Competition 2019出場。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール
in Tokyo 2022特別賞受賞。第21回東京音楽コンクール入選。本選で日本フィルハーモニー管弦楽
団とW.A.モーツァルトの協奏曲で共演。広島ウインドオーケストラ団員。

●みなさまへのメッセージ●

私は岩国市で育ち、平田中学校の吹奏楽部でオーボエに出会いました。高校1年生から上京し16年目となりまし
たが、家族と過ごし、オーボエと出会った山口には特別な思いがございまして、山口で演奏できることはとても嬉しい
です。音楽は産業でいうと、衣食住に直結するものではありませんが、だからこそ社会と密接に関わり、地域貢
献出来る音楽家になりたいと強く感じております。本日は楽しんでいただけると嬉しいです。



井出崎 優 - Yu Idesaki (いでさき ゆう) [Baritone Saxophone]

山口県山口市出身。
上野学園大学音楽学部音楽学科サクソフォン専門を卒業。
これまでに上野学園大学管弦楽団、広島交響楽団、周南フィルハーモニー管弦楽団と共演。
第6回秋吉台音楽コンクール入賞。
NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 第5回牛尾シズエ特別賞を受賞。
2019年、ピアニスト高橋優介とのデュオユニット「ユークアート」として初のCDアルバムとなる「for you」
をリリース。
beautiful 珍 earth、東京中低域、Saxophone Boys の各メンバーとして東京を中心に活動中。
これまでに工藤三千代、福光恒星、甲斐尚美、彦坂眞一郎、松原孝政、長澤範和の各氏に師事。

●みなさまへのメッセージ●

今日は下関の皆さんにお会いできるのを楽しみに帰ってきました! 沢山の音を浴びてコンサートを楽しんでいた
けると幸いです。
若い芽の会員の皆様、いつもあたたかいご声援をありがとうございます。
こうして山口で演奏させていただけることが日頃の活動にとっても励みとなっています。
日頃の感謝の気持ちも込めて演奏致します。

PROFILES of Wakaime Artists | 若い芽出身アーティストプロフィール



木村 鳳雅 - Fuga Kimura (きむら ふうが) [Alto Saxophone]

12歳(中学1年生)から吹奏楽部でサックスを始める。

本年3月山口県立豊浦高等学校卒業。

これまでに、若い芽を育てる会第14回選考会最終審査 オーディエンス賞・スポンサー賞、第40回中国ユース音楽コンクール 優秀賞、第25回記念九州音楽コンクール審査員賞、第51回・第52回下関市ソロコンテスト2年連続での最優秀賞の受賞の他、Ototsumugi Saxophone Ensembleのメンバーとして秋吉台芸術村フェスティバル、秋吉台国際芸術村ピカソプロジェクト主催「まほろば花衣」、啼鵬に学ぶピアノラ、啼鵬のしらべをはじめとする多くのコンサートに出演している。

●みなさまへのメッセージ●

今日は当コンサートへお越し頂きありがとうございます。そして、当コンサートへ出演させていただけますことを、若い芽を育てる会の皆様をはじめ、支えてくださる多くの方々へ感謝いたします。

私はこの地「下関」で生まれ育ちました。4月からはこの地を離れて上京いたします。

これまでの下関への感謝の気持ちを込めて演奏いたします。

今宵、一夜限りの演奏会をお楽しみください。



中谷 弘志 - Hiroshi Nakatani (なかたに ひろし) [Soprano & Alto Saxophone]

防府市出身。上野学園大学短期大学部から大学部に編入し両学部共に卒業演奏会に出演。2013年ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。

これまでに、サクソフォンを甲斐尚美、彦坂真一郎、松原孝政各氏に師事。

現在関東を中心に在京のオーケストラのエキストラ、イベント演奏、自主コンサートなど行う。クロレ四重奏団として横浜市旭区民文化センターサンハート、横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ、鶴見区民文化センターサルビアホール、川越市人材発掘オーディションなど各オーディションに合格し登録アーティストとして活動中。

音楽教室の講師を務める他、小中高の吹奏楽など指導活動も多岐に渡る。品川学藝高等学校サクソフォン臨時講師。桜美林大学サクソフォン臨時講師。

クロレ四重奏団、ヴァリオサクソフォンカルテット、風の旅合奏団、アットホームウインズ各所属。

●みなさまへのメッセージ●

この度はこのような素敵なコンサートに出演させていただき大変嬉しく思っております。若い芽を育てる会様をはじめ、沢山の方に感謝の気持ちでいっぱいです。地元である山口県で演奏できる贅沢を噛み締めて今日1日を楽しみたいと思います。今回は母校である上野学園大学で非常勤講師をされていた川田健太郎先生とご一緒させて頂けるということでお話しを頂いた時から楽しみにしておりました。本番を噛み締めながら皆様に感動をお届け出来るよう心を込めて演奏いたします。



弘中 優大 - Yudai Hironaka (ひろなか ゆうだい) [Euphonium]

下関市立安岡中学校、山口県立長府高等学校を経て、国立音楽大学卒業。卒業時に同大学卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。米国・アーカンソー大学大学院修士課程修了。UARK Concerto & Aria Competition 第1位。NPO 法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 第6回オーディション スポンサー賞受賞。第32回・第35回レオナード・ファルコーニ国際コンクール セミファイナリスト。これまでにユーフォニアムを三浦徹、長谷川公彦、Dr.齋藤充、Dr.ベンジャミン・ピアスの各氏に師事。

2016年に日本帰国後、北九州・福岡・下関を中心に演奏活動、指導活動を展開している。2017年には自身発案の個人教則本「Ideas for Warm-Up」をウインズスコア社より発売。2023年6月にはアメリカ・アリゾナ州で開催された国際チューバ・ユーフォニアム協会の50周年記念大会にゲスト・アーティストとして出演。海響ペー스트ライブ主宰。アンサンブル・フィロスメンバー。平成音楽大学、福岡第一高等学校音楽科各講師。日本ユーフォニアム・チューバ協会理事。ウィルソン・ユーフォニアム・アーティスト。

●みなさまへのメッセージ●

若い芽を育てる会とご縁をいただいて約10年。今では事務局のお手伝いにも関わらせていただき、今回も企画・運営を任せられました。若い芽の活動を通して、音楽のみならずたくさんの素敵な方々とのご縁をいただき感謝しております!そして、今夜はふるさと下関でこのような演奏会を開催でき、そして日頃応援してくださってる方々の前で演奏できて幸せです。今後も「音楽は誠意!」という言葉をお忘れずに、精進してまいります。これからも暖かく見守ってくださると嬉しいです。今夜はどうぞお楽しみください♪

PROFILES of Wakaimo Artists | 若い芽出身アーティストプロフィール



弘中 晴菜 - Haruna Hironaka (ひろなか はるな) [Tuba]

山口県下関市出身。山口県立長府高等学校を経て、くらしき作陽大学音楽学部卒業。2015年度特待生。

2018年くらしき作陽大学英国式金管バンド演奏会にてP.スパークのチューバ協奏曲を共演。

第4回作陽音楽コンクール室内楽部門第3位(金管五重奏)。

令和4年度NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 助成オーディションにて、スポンサー賞・オーディエンス賞を受賞。

これまでにチューバを佐藤和彦、古本大志、室内楽を白濱俊宏、森博文、英国式ブラスバンドを白濱俊宏の各氏に師事。ファビアン・ワルラン氏のマスタークラスを受講。

山口県を中心に演奏や指導など、幅広く活動している。

海響ベストライブメンバー。

●みなさまへのメッセージ●

日頃よりあたたかいご声援ありがとうございます。

地元下関で、“若い芽”の一員としてこのような演奏会に参加させていただけること、とても嬉しく思っております。

本日はどうぞごゆっくりお楽しみください。

PROFILES of Conductor & MC | 指揮者&司会プロフィール



岩満 貴大 - Takahiro Iwamitsu (いわみつ たかひろ) [Conductor - 1st stage]

山口県出身。国立音楽大学卒業。ノーステキサス大学大学院修士課程修了。

ファルコーニ国際コンクールや、日本管打楽器コンクール、ITECの各種コンクール等で入賞。TUSABTEW 作曲コンクール優勝など、作編曲家としても活動。

また指導者として、ノーステキサス大学教育助手を経て、日米両国で中高生のレッスンや合奏指導、大学のレッスンやマスタークラス等を行う他、近年では吹奏楽コンクールやソロコンテストの審査員も務める。

ユーフォニアム四重奏団 OrigAmi メンバー。Vivid Brass Tokyo ユーフォニアム奏者。

ヤマハミュージックジャパンユーフォニアム・バンドインストラクター。



渡辺 かえ - Kae Watanabe (わたなべ かえ) [MC]

下関市出身。

生野小学校4年の夏に出場したちびっこのだ自慢大会で優勝したことをきっかけに、小学5年から平尾昌晃ミュージックスクール福岡校にて学び、梅光女学院中学校3年の秋に上京。

1984年、堀越高校1年の冬「哀しみのレイントリー」でレコードデビュー。シングル4枚、アニメソングのアルバム参加等、7年間の歌手活動を経て帰郷。

現在、カモンエフエムやJ:COM下関の番組出演、CMナレーションの他、プライベートでは、施設やイベント等、夫とともに歌唱のボランティア活動も展開中。

PROFILES | 若い芽ウインド・オーケストラメンバープロフィール



花元 百歌 - Momoka Hanamoto (はなもと ももか) [Piccolo]

福岡県飯塚市出身。洗足学園音楽大学管楽器コース卒業。
これまでにフルートを須藤瑛里子、菅原潤、永田明の各氏に師事。室内楽を酒井秀明、山根公男の各氏に師事。ウルフ・ディーター・シャープ氏のマスタークラスを受講。
現在、北九州市消防音楽隊にて活動するとともに、中学・高校・音楽教室にて後進の指導を行う。



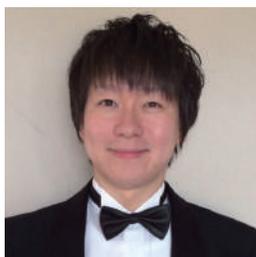
柴田 楓 - Kaede Shibata (しばた かえで) [Flute]

長崎県佐世保市出身。大分県立芸術文化短期大学卒業、同大学専攻科修了。それぞれ優秀な成績を収め、卒業演奏会、修了演奏会に出演。
第56回北九州芸術祭クラシックコンクールにて奨励賞を受賞、第26回宮日音楽コンクールにて優良賞受賞。
これまでにフルートを下田雄二、永野伶実の各氏に師事。
現在、北九州市消防音楽隊に所属し活動する傍ら、中学校、高校にて後進の指導も行う。
松田楽器フルート講師。



澤井 波音 - Hanon Sawai (さわい はのん) [Flute]

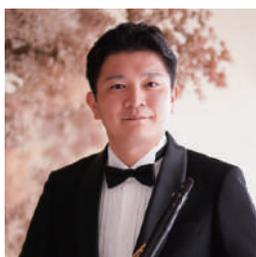
山口県出身。山口県立防府西高校、エリザベト音楽大学を卒業。
第22回"万里の長城杯"国際音楽コンクール アンサンブル部門 第4位。第23回"万里の長城杯"国際音楽コンクール 管楽器部門 大学の部 優秀賞。エリザベト音楽大学卒業演奏会出演。
YAMAHA管楽器新人演奏会出演。
今までにフルートを熊谷美保、甲斐雅之の各師に師事。



古川 裕貴 - Yuki Furukawa (ふるかわ ゆうき) [Fagott]

くらしき作陽大学 音楽学部 教育音楽学科 吹奏楽指導専修を首席で卒業。同大学 音楽専攻科 首席で修了。

これまでにチューバを長谷川公彦、故 松下晃一、佐藤和彦の各氏に師事。フルートを栢田真弥子、クラリネットを林原郁雄、ファゴットを柳浦慎史、コントラバスを渡辺彰考、打楽器を生乃久法、吹奏楽指導法を保科 洋、林原郁雄、作・編曲法を上岡洋一の各氏に師事。
日本ウインドアンサンブル《桃太郎バンド》Tuba奏者兼multiplayer。



本濱 寿明 - Nobuaki Motohama (もとはま のぶあき) [E♭Clarinet & B♭Clarinet]

兵庫県淡路島出身。国立音楽大学を卒業。ダーティントン国際音楽サマースクール(イギリス)に2013に特待生として参加。

第7回ルーマニア国際音楽コンクール管楽器部門第1位、第12回秋吉台音楽コンクール室内楽(2重奏)部門第1位及び山口県知事賞などを受賞。これまでに大阪センチュリー交響楽団、ポーランド放送室内合奏団と共演。2019年シンガポール交響楽団客演奏者オーディション合格。
現在、北九州市消防音楽隊に在籍、ヤマハ管楽器テクニカルアカデミー講師。



大倉 理嘉 - Rika Okura (おおくら りか) [B♭Clarinet]

大分県出身。
洗足学園音楽大学卒業。在学中、選抜特待生に選ばれる。
2009年第6回クラリネットアンサンブルコンクール一般の部C部門において最高位を受賞。
2011年第2回おおいの新人演奏会出演。
これまでにクラリネットを小倉清澄、関口仁、室内楽を荻原清次、千葉直師の各氏に師事。
北九州市消防音楽隊を経て、現在フリー奏者として活動中。
九州クラリネットハーモニーメンバー。

PROFILES | 若い芽ウインド・オーケストラメンバープロフィール



戸次 智子 - Tomoko Bekki (べっきともこ) [B♭Clarinet]

福岡第一高等学校音楽科、東京音楽大学卒業。
同大学大学院科目等履修生修了。
クラリネットを小田美代子、小倉清澄、四戸世紀、重松希巴江の各氏に師事。
現在、河島楽器クラリネット講師、福岡ジュニアオーケストラアカデミー講師。



松川 久美子 - Kumiko Matsukawa (まつかわくみこ) [B♭Clarinet]

愛知県立芸術大学音楽学部卒。マーストリヒト音楽院修士課程修了。第1回クラリネットアンサンブルコンクール第2位、第44回北九州芸術祭グランプリ受賞。2009年九州交響楽団と共演。2011年より2年間ロイヤルフランダースフィルハーモニーのアカデミー生として研鑽を積む。(公財)北九州市芸術文化振興財団音楽アウトリーチ事業 平成28・29年度登録アーティスト。現在、フリーのクラリネット奏者として幅広く活躍するとともに後進の指導にも積極的にあたっている。
北九州市ジュニアオーケストラ、福岡ジュニアオーケストラ講師。



山崎 澪 - Mio Yamasaki (やまさき みお) [B♭Clarinet]

福岡県出身。11歳よりクラリネットを始める。
福岡第一高等学校音楽科卒業、卒業演奏会に出演。
愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻卒業。
これまでにクラリネットを小田美代子、伊藤圭、ブルックス・信雄・トーン各氏に師事。



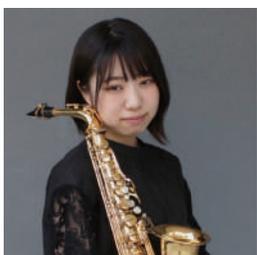
山下 優輝 - Yuki Yamashita (やました ゆうき) [B♭Clarinet]

福岡県出身。高等学校卒業後、一般企業にて7年間勤務したのち、大分県立芸術文化短期大学音楽科管弦打コースに進学、首席で卒業。専攻科音楽専攻修了。第86回新人演奏会(主催読売新聞社)出演。
第6回秋吉台音楽コンクール室内楽部門入選。第55回北九州芸術祭クラシックコンサートにて大賞及び県知事賞受賞。第36回日本管打楽器コンクールクラリネット部門入選。
クラリネットを松本努、山田美裕貴、武田忠善、佐藤三保の各氏に師事。
現在、北九州市消防音楽隊、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団クラリネット奏者。



嶽下 孝平 - Kohei Takeshita (たけした こうへい) [Bass Clarinet]

国立音楽大学卒業。
クラリネットを横川晴児、武田忠善、山田美裕貴の各氏に師事。



坂口 夕姫 - Yuki Sakaguchi (さかぐち ゆき) [Tenor Saxophone]

青森県出身。山口県立長府高等学校卒業。
第37回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール木管楽器部門全国大会入選。国立音楽大学学内オーディション合格者による第110回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。
これまでにサクソフォーンを安部浩将、田中靖人に、室内楽を滝上典彦、田中靖人の各氏に師事。
現在、国立音楽大学 演奏・創作学科 弦管打楽器専修(サクソフォーン) 4年、マネジメントコース在学中。

PROFILES | 若い芽ウインド・オーケストラメンバープロフィール



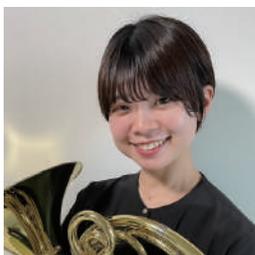
大藪 昌嗣 - Masatsugu Oyabu (おおやぶ まさつぐ) [Horn]

福岡県出身。愛知県立芸術大学器楽科を卒業。
これまでにホルンを、田中大輔、大野良雄、竹村淳司の各氏に師事。
現在、福岡県を中心に演奏活動や指導等を行なっている。
九州管楽合奏団団員。



奥村 美咲 - Misaki Okumura (おくむら みさき) [Horn]

岡山県出身。国立音楽大学卒業。
ホルンを吉市幹雄、井手詩郎、渡部奈津子の各氏に師事。
室内学を中島大之、井手詩郎、阿部磨の各氏に師事。
北九州市消防音楽隊を経て、現在は福岡、広島のプロオーケストラの客演、中高生への楽器指導などを中心に活動している。



佐藤 菜乃子 - Nanoko Sato (さとう ののこ) [Horn]

大分県大分市出身。
大分県立芸術文化短期大学音楽科管弦打コースを卒業後、同大学専攻科音楽コースを修了。
これまでにホルンを清水万敬、林伸行の各氏に師事。
現在、北九州市消防音楽隊での活動の傍、九州内のオーケストラや吹奏楽団への客演、中高吹奏楽部でのレッスンも行っている。



山本 茜 - Akane Yamamoto (やまもと あかね) [Horn]

山口県出身。洗足学園音楽大学卒業。卒業時に優秀賞を受賞。
同大学、卒業演奏会、第29回ヤマハ新人演奏会に出演。
小澤音楽塾オーケストラ「青少年のためのオペラ」に参加。
秋山和慶氏による若手育成オーケストラ、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団に2013年～2018年在籍。これまでにホルンを会田省三、故河原完の両氏に師事。
現在、オーケストラ、吹奏楽、ミュージカル等で活動中。
洗足学園小学校、及び、洗足学園中学高等学校のホルン講師。



安部 志穂里 - Shiori Abe (あべ しおり) [Trumpet]

福岡県北九州市出身。2008年くらしき作陽大学音楽学部音楽学科に特待生として入学。2012年同大学卒業。
これまでにトランペットを故 河辺のぶ子、本村孝二、杉木峯夫、神代修の各氏に師事。
現在はフリーのトランペット奏者として、ソロ・吹奏楽・オーケストラ・室内楽等、幅広く活動している。また、北九州市ジュニアオーケストラの講師を務めるなど後進の指導にも積極的にあたっている。北九州グランフィルハーモニー管弦楽団団員、日本ウインドアンサンブル《桃太郎バンド》首席トランペット奏者。



川畑 有佳 - Yuka Kawabata (かわばた ゆか) [Trumpet]

山口県下関市出身。下関西高等学校でトランペットを始める。
東京学芸大学中等教員養成課程 トランペット専攻に進学し、その後、東京藝術大学大学院修士課程へ進学。修士課程修了後、2年間高校教員を務める。
現在は音楽配信会社へ転職し、フリーランスの音楽家・アーティストを支援するwebサービスを運営しながら、全国の音楽大学・専門学校にて、現代音楽ビジネスの講義を展開している。
また、2023年12月に、全国から1400名のアーティストを集めたカンファレンスを実施し、Google 渋谷オフィスにて登壇を行なった。

PROFILES | 若い芽ウインド・オーケストラメンバープロフィール



森 葵 - Aoi Mori (もり あおい) [Trumpet]

福岡第一高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。
桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了。
愛知県立芸術大学音楽学部卒業演奏会に出演。
これまでにトランペットを武内安幸、八馬俊也、北村源三、長谷川潤の各氏に師事。



田代 泰地 - Taiji Tashiro (たしろ たいち) [Trombone]

北九州市出身。
武蔵野音楽大学卒業。
トロンボーンを山下秀樹、村岡淳志、柴田晃の各氏に師事。
現在、フリーランスのトロンボーン奏者として演奏、指導を行っている。



長田 智史 - Satoshi Nagata (ながた さとし) [Trombone]

平成音楽大学首席卒業。同大学専攻科修了。
平成音楽大学卒業演奏会出演。第55回熊本県新人演奏会出演。第87回読売新人演奏会出演。第33回ヤマハ管楽器新人演奏会出演。
トロンボーンを柏尾剛徳氏に師事。
北九州市消防音楽隊トロンボーン奏者を経て、現在フリーランスとして九州を中心に演奏活動や後進の指導を行う。トロンボーントリオ地場3メンバー。



藤田 尚也 - Naoya Fujita (ふじた なおや) [Bass Trombone]

福岡第一高等学校音楽科、大分県立芸術文化短期大学音楽科卒業。
第17回九州音楽コンクールにおいてグランプリ受賞、並びに出田賞を受賞。
学生〜一般の指導活動に加え、プロの吹奏楽とオーケストラの他、ジャズやアイドル、アーティストのサポートメンバーにツアーで参加等、フリーランスの奏者としてジャンルを問わず活動中。
バストロンボーンをこれまでに村岡淳志氏、篠崎卓美氏、黒金寛行氏、池田亘氏ら各氏に師事。



岩永 琴美 - Kotomi Iwanaga (いわなが ことみ) [Euphonium]

佐賀県出身。大分県立芸術文化短期大学 音楽科 管弦打コースを首席卒業。
同大学 専攻科 音楽専攻を首席卒業。
フリーのユーフォニアム奏者として福岡、佐賀、大分を中心に演奏活動や吹奏楽指導を行なっている。ユーフォニアムを村岡淳志、上岡敏宏に師事。スティーブン・ミードのマスタークラスを受講。
アンサンブルグループ『音楽に駆ける』代表。
第21回万里の長城杯国際音楽コンクール 管楽器部門 第2位(1位なし)
第33回日本クラシック音楽コンクール 一般の部 第5位



植田 響平 - Kyohei Ueda (うえだ きょうへい) [Tuba]

山口県下関市彦島生まれ。下関市立玄洋中学校、山口県立豊浦高等学校を経て、国立音楽大学を卒業。卒業時に同大学卒業演奏会に出演。
これまでにチューバを佐藤和彦、古本大志の各氏に師事。またDr.Benjamin Pierce、David Zambonの各氏に指導を受ける。第61回新進演奏家育成プロジェクトにて、ヴォーン・ウィリアムズ作曲「チューバ協奏曲」を広島交響楽団と共演。
ITEC(国際チューバ・ユーフォニアム大会)2023-ITEA創立50周年記念大会(アメリカ・アリゾナ州)にゲスト・アーティストとして出演。

PROFILES | 若い芽ウインド・オーケストラメンバープロフィール



武富 祐子 - Yuko Taketomi (たけとみ ゆうこ) [Contrabass]

山口県山口市在住。12歳よりコントラバスを始める。福岡教育大学音楽科卒業。これまで、北崎千代佳、吉浦勝喜の各氏に師事。2014年文屋充徳氏マスタークラスを受講。現在、室内楽やオーケストラなど、九州・山口の各地で演奏活動を行っている。2011年より響ホール室内合奏団団員。2011年、2014年の韓国公演に参加。



越智 亮太 - Ryota Ochi (おちりょうた) [Percussion]

西日本を中心に演奏するマリンバ・打楽器奏者。「誰もが楽しめるもの」をテーマに、幅広く音楽の魅力を発信している。僻地での主催コンサート事業や公共福祉施設での出張演奏などを行う他、幼児から小学生を対象とした音感・ピアノレッスンやわらべうた活動を行っている。くらしき作陽大学マリンバ専攻卒業。プラトン音楽院講師。日本コダーイ協会国際会員。2021年、初カバーアルバム「healing」をリリース。TikTokフォロワー6万人。



倉永 淳 - Jun Kuranaga (くらなが じゅん) [Percussion]

福岡県出身。3歳からピアノを始め16歳から打楽器を始める。福岡第一高校音楽科卒業。東京音楽大学卒業。これまで都内のオーケストラや室内楽、アンサンブル金沢、九州交響楽団、広島交響楽団、デザインオーケストラなど全国の様々なオーケストラと共演。打楽器、ティンパニを菅原淳、久保昌一の各氏に師事。現在九州を中心にオーケストラや室内楽で活動する傍ら、小、中、高校生への指導にも力を注いでいる。北九州グランフィルハーモニー管弦楽団団員。



長谷見 枝里 - Eri Hasemi (はせみ えり) [Percussion]

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了、カールスルーエ音楽大学(ドイツ)修士課程修了。現在、北東ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団に、打楽器兼ティンパニ奏者として在籍。第12回イタリア国際打楽器コンクール小太鼓部門第3位(1位なし)など、国内外のコンクールにて多数入賞。九州交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団、ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団など、日本、ドイツ国内のオーケストラに客演。



守田 智紀子 - Sakiko Morita (もりた さきこ) [Percussion]

福岡県出身。国立音楽大学演奏学科打楽器専修卒業。オーディション選抜者による第66回TIAA全日本クラシック音楽コンサートをはじめJAPAN BAND CLINICや台湾嘉義市国際音楽祭等に出演。国内外のオーケストラや吹奏楽団の客演奏者、クイズドレミファドン企画やカウントダウンTV、紅白歌合戦のバンドサポート、アーティストサポートなどの演奏活動の他、中高生の吹奏楽部を中心に後進の指導にあたる。打楽器トリオ「マスケ」、北九州マリンバオーケストラ「RIM」、PERCUSSION NINEメンバー。



吉田 実奈子 - Minako Yoshida (よしだ みなこ) [Percussion]

福岡県芦屋町出身。福岡女子短期大学音楽科卒業。同大学専攻科修了。第42回、第43回卒業演奏会出演。第18回KOBÉ国際音楽コンクール本選出場。第25回すみれ会音楽コンクールにて公益財団法人福岡市文化芸術振興財団賞受賞。第39回北九州新人演奏会出演。現在ユリックスジュニアプラス打楽器指導者、東海大学付属福岡高等学校吹奏楽部講師。西日本打楽器協会会員、北九州音楽協会会員。北九州マリンバオーケストラ RIM 団員、打楽器トリオ「マスケ」メンバー。

INFORMATION | 若い芽を育てる会 インフォメーション

★年会費

個人会員一口 2,000円 法人会員一口 10,000円

★会員特典

- ・ニュースレター送付
- ・本会主催の催しチケットご案内
- ・会員交流交歓会
- ・助成金審査会へのご招待
- ・出演者を囲んでのイベント等への優先参加

※今後も様々な特典を計画予定です。

★事務局

〒752-0966

山口県下関市長府亀の甲1-2-1

TEL:080-5626-2010

入会ご希望の場合は、お気軽に受付スタッフまでお声掛けください。

若い芽を育てる会 ホームページ <https://ymat2010.org/>

当会ではホームページに加え、各種SNSでも情報発信しております。

YouTubeチャンネルでは10周年記念 若い芽芸術祭の様様や

つながる音楽プロジェクトの様様の動画を配信しています。

ぜひ一度アクセスしてご覧ください!



NPO法人
芸術・文化 **若い芽を育てる会**
Young Musicians and Artists Trust